2015 年度 小委員会活動成果報告

(2016年2月8日作成)

小委員会名	水環境における省資 法検討小委員会	源・省エネの定量的評価手	主 査 名 :小瀬 博之 就任年月:2015年4月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (水環境運営委員会)	委員長名 :羽山 広文 主 査 名 :西川 豊宏
設 置 期 間	2015年 4月 ~ 2019年 3月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	・給水、排水、給湯、衛生器具、排水再利用等の給排水衛生設備における節水・省エネ等の効果を分析し、企画・設計・施工・改修の建築における各段階において、どの程度の効果があるのかを検討する。 ・水環境分野における省資源・省エネに考慮した機器・器具・システムなどを、定量的に評価する手法を開発する。 ・建築物に応じた給排水衛生設備の節水器具・省エネ機器・環境配慮システム等の事例調査を行う。		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無:無主査:小瀬博之 (東洋大学)幹事:中野民雄 (静岡文化芸術大学)委員:小澤愉 (日建設計)、西川豊宏 (工学院大学)、樋口佳樹 (日本工業大学)、藤沼央子 (ベターリビング)、結城晶博 (TOTO)、渡光次郎 (LIXIL)		
設置 WG (WG 名:目的)	なし		
2015 年度予算	27,000 円	ホームページ公開の有無:有 委員会 HP アドレス:http://news	s-sv.aij.or.jp/kankyo/s21/water

項目	自己評価		
委員会開催数	6回(年度内計画を含む)		
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	なし		
講習会	なし		
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	なし		
大会研究集会	なし		
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	なし		
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	 給排水衛生設備における節水・省エネ等の効果を横断的にかつ定量的に評価する方法について検討し、水の持つポテンシャルをいくつかの要素に整理した。 建築物に応じた給排水衛生設備の節水器具・省エネ機器・環境配慮システム等の調査として、関係法令やキャンペーンの確認、既往研究の確認、事例の収集を行った。 		
委員会活動の問題点 ・課題	1. 建築物に応じた給排水衛生設備の節水器具・省エネ機器・環境配慮システム等の事例調査を継続するとともに、付随するシステムとしての省資源・省エネ効果の分析を試みる必要がある。そのために対象とする建物用途、評価要素、評価の表記方法など、多面的な検討を行う必要がある。 2. 国内外の建築物における省資源・省エネの既存の定量的評価システムについて引き続き調査を行う必要がある。		